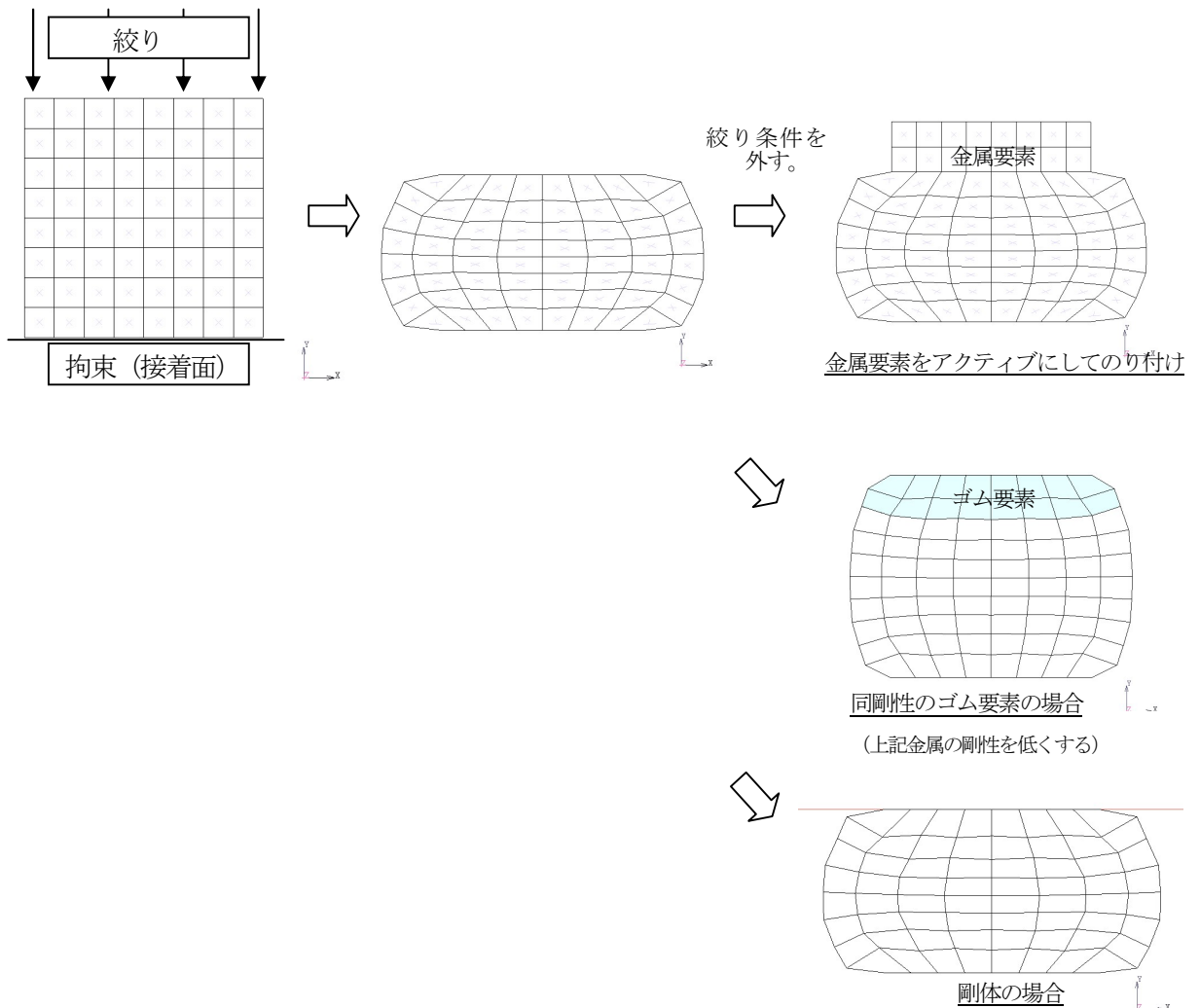


解析を行う際、絞り (圧入) から次のステップへの解析を簡単に行いたいと拘束を瞬時に外すと収束しないという問題があり、次のような解析が可能であれば解析効率は数段アップするはずである。  
平面ひずみ、軸対象要素共に次のような解析は MARC 2005 あたりのバージョンでは解析できなかったと記憶していたが、2008 でトライをした結果可能となっている。

軸対象モデルでの解析例



過去のトライの結果は、MARC 2005 以前と記憶しているがどの場合でも絞りの条件を外したとたんに金属(or ゴム、剛体)要素との Glue を行っても解が収束しない状況であった。  
3次元モデルでの解析では、この絞りを局座標で設定する必要があるが、以前のバージョンでは局座標と接触の組み合わせは上手く機能しなかったが、現在 2008 (or 2010) バージョンでは局座標と接触機能の組み合わせが可能である為、3次元でも応用できると考える。  
3次元での応用が可能となれば、非常に解析を効率的に出来ることになる。

解析モデル : contact-test10415.dat contact-test10416.dat (トライモデルの無償提供します)